

戊辰戦争

旧幕府軍(東軍)と明治新政府軍(西軍)の戦争。慶応4年(1868年)1月3日から翌年の明治2年5月18日まで、1年半近く続いた。長岡での北越戦争もその一環だった。

慶応3年(1867年)10月、徳川慶喜は大政奉還し、天皇に政権を返上。徳川幕府は終焉を迎えた。しかし、薩長(薩摩藩・長州藩)勢力は徳川家の権力を完全消滅させるため「王政復古の大号令」を發布。明治新政府の樹立を宣言した。大義名分を失った慶喜は京都を離れ、大坂に退去を余儀なくされる。政権の掌握に成功した新政府軍は、江戸で騒乱を起こして旧幕府方を挑発。「鳥羽・伏見の戦い」を引き起こす。薩長が徳川幕府の息の根を止めるため、武力討幕を実現させるために起こした「戊辰戦争」の始まりだった。薩長軍は天皇家の菊紋が入った「錦旗」を掲げたため官軍となり、一方の旧幕府軍は図らずも賊軍とされたことで士気が上がらず、敗北を続ける。京・大坂にはじまり、江戸無血開城を経て、戦場は上野・宇都宮から東北へ。長岡・会津・仙台、そして箱館へと続くが、五稜郭の陥落をもって終結。旧幕府軍は敗れ、武士の世は終わった。



田中 泯
かわいだいけん
[河井代右衛門]



香川京子
きだ
[お貞]



松たか子
[おすが]



役所広司
かわいつぎのすけ
[河井継之助]



榎木孝明
かわいまもろ
[川島億次郎]



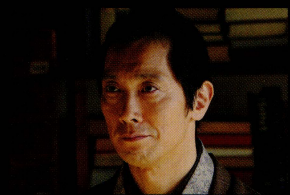
坂東龍汰
こやましょうたろう
[小山正太郎]



芳根京子
[むつ]



永山 紜斗
まつぞう
[松蔵]



佐々木 蔵之介
こやまけんすけ
[小山良運]



東出昌大
こやまひろし
[徳川慶喜]



AKIRA
やまもとたけなす
[山本帯刀]



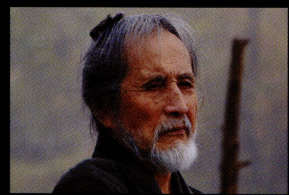
渡辺 大
はなわちおとめ
[花輪求馬]



仲代達矢
なかのせつどう
[牧野雪堂]



吉岡秀隆
いかわらせいしろう
[岩村精一郎]



山本 學
[老人]



井川比佐志
いかわひさしょう
[月泉和尚]

峠

小泉堯史 監督作品

最後のサムライ



- 東出昌大
- 佐々木蔵之介
- 井川比佐志
- 山本學
- 吉岡秀隆
- 仲代達矢

原作：司馬遼太郎「峠」(新潮文庫刊)

9.25

監督・脚本：小泉堯史 音楽：加古隆

企画・制作：松竹撮影所 デイ&フェローズ 配給：松竹 アスマック・エース

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 ©2020「峠 最後のサムライ」製作委員会

touge-movie.com

9月25日(金) 全国公開

劇場内での映画の撮影録音は犯罪です
www.eigakan.org
0120-550098



司馬遼太郎の名著が、初の映画化！ “知られざる英雄”河井継之助を描く、歴史超大作！！

解説

累計発行部数381万部超の大ベストセラーとして今なお読まれ続けている司馬遼太郎の名著「峠」が、待望の初映画化となる。

越後長岡藩の家老・河井継之助は、江戸をはじめとする諸国への遊学で世界を見据えるグローバルな視野を培い、領民のための斬新な藩政改革を次々と実行していた。

戊辰戦争が起こり、日本が東軍(旧幕府軍)か西軍(明治新政府軍)かに二分する中、戦争を回避しようと、近代兵器を備えてスイスのような武装中立を目指した。だが、平和への願いもむなしく、長岡藩もまた戦火に呑み込まれていく――。

世界的視野とリーダーシップで坂本龍馬と並び称され、敵対していた西郷隆盛や勝海舟さえもその死を惜しんだといわれる、知られざる英雄・河井継之助。「最後のサムライ」として正義を貫くその姿は、今に生きる私たちに何を語るのだろうか。

監督・脚本は、『影武者』など数々の黒澤明作品に助監督として携わってきた小泉堯史。日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞した監督デビュー作『雨あがる』以来、人間の美しい在り方を描いてきた彼が、司馬遼太郎が求めたものを丹念にスクリーンに映し出す。

主演の河井継之助を演じるのは日本を代表する名優、役所広司。脚本にほれ込み、理想のリーダーたる継之助を力強く演じきった。

継之助を支える妻、おすがには、数々のテレビ・映画・舞台で活躍を続ける松たか子。

河井継之助の生涯と幕末時勢

- 文政10年(1827年) 1月1日 継之助、長岡城下に生まれる
- 嘉永5年(1832年) 秋 江戸に遊学。佐久間象山に学ぶ
- 安政6年(1859年) 翌年、浦賀に黒船来航
- 安政7年(1860年) 山田方谷らの教を請う
- 3月3日 桜田門外の変。
- 慶応元年(1865年) 尊王攘夷の気運が高まる
- 慶応2年(1866年) 継之助、郡奉行に就任。藩政改革に着手
- 1月21日 坂本龍馬の仲介により、薩長同盟締結
- 10月14日 徳川慶喜、大政奉還を上奏
- 12月9日 王政復古の大号令

私はこの「峠」において、侍とはなにかということを考えてみたかった。

その典型を越後長岡藩の非門閥家老河井継之助にもとめたことは、書き終えてからもまちがっていないなかったとひそかに自負している。

司馬遼太郎 「峠」あとがきより

その他、前長岡藩主・牧野雪堂役の仲代達矢をはじめ、演技派のベテランから新進気鋭の若手まで、錚々たる豪華共演陣がそろった。

製作には、今回も黒澤組からチームを組むスタッフが集結。常時2〜3台のカメラをまわすフィルム撮影、全編長岡を中心にした新潟でのロケーション撮影で、戊辰戦争の中でも最も激しかったといわれる北越戦争の、大規模な戦闘シーンにも挑んだ。

動乱の幕末に生きた「最後のサムライ」を、黒澤組ゆかりのキャスト・スタッフが結集し、美しい映像で描いた歴史超大作、その幕が遂にあがる！

物語

敵軍50,000人に、たった690人で挑んだ、最後のサムライ、
慶応3年(1867年)、大政奉還。260年余りに及んだ徳川幕府は終焉を迎え、諸藩は東軍と西軍に二分していく。

慶応4年、鳥羽・伏見の戦いを皮切りに戊辰戦争が勃発した。越後の小藩、長岡藩の家老・河井継之助は、東軍・西軍いずれにも属さない、武装中立を目指す。戦

うことが当たり前となっていた武士の時代、民の暮らしを守るために、戦争を避けようとしたのだ。

だが、和平を願って臨んだ談判は決裂。継之助は徳川譜代の大名として義を貫き、西軍と砲火を交えるという決断を下す。

妻を愛し、国を想い、戦の無い世を願った継之助の、最後の戦いが始まった……。

- 慶応4年(1868年) 1月3日 鳥羽・伏見の戦い
- 近代武装の西軍の前に東軍は大敗
- 長岡藩、ガトリング砲など近代兵器を備えていく
- 4月11日 江戸城無血開城。慶喜は水戸藩にて謹慎
- 5月2日 継之助と西軍の談判が決裂
- のちに、北越戦争開戦
- 7月25日 継之助負傷
- 8月16日 継之助、敗走途中の会津塩沢で没。享年42
- 8月中旬 越後全域が西軍の支配下となる
- 8月23日 西軍が会津若松城下に突入
- 明治元年(1868年) 会津藩降伏。翌23日、長岡藩降伏
- 9月22日 榎本武揚率いる東軍の軍艦が
- 10月21日 蝦夷地に上陸(箱館戦争)
- 明治2年(1869年) 5月18日 五稜郭開城。東軍が投降し、箱館戦争及び戊辰戦争が終結

※日付は旧暦。カッコ内は新暦表記。
※開戦時期には諸説あります。

